

こんにちは

第51号
平成29年3月31日

金山社協です

みんなで築こうシルバーユートピア



ひとり暮らしのつどい

平成28年10月6日・7日

編集発行 / 社会福祉法人 金山町社会福祉協議会

〒968-0006 福島県大沼郡金山町大字中川字沖根原1324 ゆうゆう館内
TEL 0241(55)3336 FAX 0241(55)3412 ホームページアドレス <http://kaneyamashakyo.or.jp>
E-mail: kaneyama205yu2@atlas.plala.or.jp

『社協』は、社会福祉協議会の略称です。

第70回 福島県社会福祉大会

平成28年11月10日(木)郡山ユラックス熱海において第70回福島県社会福祉大会が開催されました。大会では、元NHKエグゼクティブアナウンサーの梅津正樹氏による『ことばとコミュニケーション』という演題での記念講演がありました。

また式典では、各表彰状及び感謝状の贈呈があり、金山町は3名、1校の方々に賞状が贈られました。

《福島県社会福祉大会会長表彰》

- ・小塩 トミコ (越川)
- ・滝沢 富枝 (上横田)

《福島県民生児童委員会会長表彰》

- ・横田 直子 (越川)

《福島県共同募金会会長感謝状》

- ・福島県立川口高等学校



第4回 町内・集落福祉全国サミットin 奥会津

平成28年11月26日(土)・27日(日)の2日間、御神楽館において開催されました。1日目は全国各地から約250名の参加があり、基調講演や基調鼎談、4町村の地域づくりや支え合い活動の発表がありました。2日目は、各町村(会津美里町・三島町・昭和村・金山町)の分科会で金山町は、本名・西谷・越川・西部・大塩の住民の方々にも登壇していただき生活支援コーディネーターによる活動報告をさせていただきました。普段みなさんが何気なく行っていることやお茶飲みが、実は支え合いや見守りに繋がっていることを改めて知っていただくよい機会になったのではないのでしょうか。



平成28年度 福祉のつどい

平成28年12月6日(火)金山町開発センターにおいて『健康寿命を延ばそう！自分のできることから始めよう』をテーマに福祉のつどいを開催しました。

当日は、社会福祉協議会へ多額の寄付をされた方への感謝状の贈呈を行いました。また、第2回地域ふれあい講習会では、町保健師の指導の下、介護予防のための元気でまっせ体操とかぼまる体操を体験してもらいました。参加者からは「自分の地区でもぜひやってみたい！」という声も上がり心も体もリフレッシュでき楽しい講習会となりました。



平成28年度 除雪ボランティア

今年度も、たくさんの除雪ボランティアの方々に来てくださいました。ご協力ありがとうございました。



- 1月下旬～毎週水・木曜日活动 東北電力グループ 107名 10件
- 1月27日(金) 金山中学校生徒先生 32名+先生10名 2件
- 1月28日(土) 富士ソフト㈱ 6名 3件
- 1月29日(日) 富士ソフト㈱ 6名 1件
- 2月 4日(土) ハートネットふくしま 10名 3件
- 2月 4日(土) 富士ソフト㈱ 6名 2件
- 2月 4日(土) 越谷市社協 12名 3件
- 2月 5日(日) 富士ソフト㈱ 6名 1件
- 2月 5日(日) 越谷市社協 12名 1件
- 2月 5日(日) いわき明星大学学生教員 10名 2件
- 2月11日(土) 羽生市社協 10名 2件
- 2月12日(日) 羽生市社協 10名 2件
- 2月18日(土) 両沼地区連合会 20名 2件



出かけてきてみませんか?

高齢になっても、なるべく自宅で過ごしたいと思う方は多いのではないのでしょうか。金山町は健康寿命を延ばしていくために、さまざまな事業を展開しています。

社会福祉協議会でも高齢者が町内で元気に暮らし続けるために、交流の場を提供しながら、健康の維持、生きがいづくりや仲間づくりなど、日常生活を暮らしやすくするために下記のような事業をおこなっています。

☆ゆうゆうの会☆



【開催日及び開催場所】(上半期分)

ゆうゆう館	大塩集会所
4月14日(金)	4月25日(火)
5月10日(水)	5月26日(金)
6月9日(金)	6月27日(火)
7月11日(火)	7月25日(火)
8月8日(火)	8月25日(金)
9月12日(火)	9月26日(火)

【開催時間】

午前10時～午後3時まで

【参加費】

850円(お弁当が不要の方は150円)



午前中は、お茶飲みをしながらおしゃべりをしたり、血圧測定や軽い体操などをおこないます。午後は、ゲームや物作りなどをし1日ゆっくり楽しく過ごしてもらいたいと思います。

自宅から開催場所までの送迎があります。詳しくは担当までお問い合わせください。

連絡先：ゆうゆう館 電話55-3336

担当：五十島・栗城



いきいき生活倶楽部

(町受託事業)

【開催日及び開催場所】

開催曜日	開催場所	対象地区
月曜日	本名公民館	西谷・本名・橋立
火曜日	山入集会所	山入一・山入二
水曜日	横田公民館	横田・上横田・土倉・西部・大塩・滝沢・田沢・越川
木曜日	ゆうゆう館	川口・大志・板下・宮崎・上田・水沼・上大牧・下大牧 高倉・大栗山・福沢・三更・沼沢・太郎布
金曜日	玉梨集会所	小栗山・八町・玉梨

【開催時間】

午前10時～11時30分まで

【参加費】

150円

『元気でまっせ体操』を中心とした介護予防教室です。

自宅から開催場所までの送迎があります。詳しくは担当までお問い合わせください。

連絡先：ゆうゆう館 電話55-3336 担当 坂内

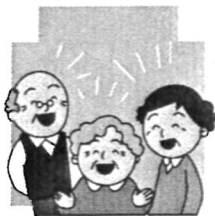


平成 29 年度事業計画・予算のあらまし

【重点事業】

1. 小地域生活支援ネットワーク形成事業

住み慣れた地域に住み続けるために、地域の特性を生かした生活支援ネットワークづくりの拡充



2. 生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターによる、地域づくりを行ううえでの生活課題の把握や支え合い活動の発掘



地域福祉活動の推進



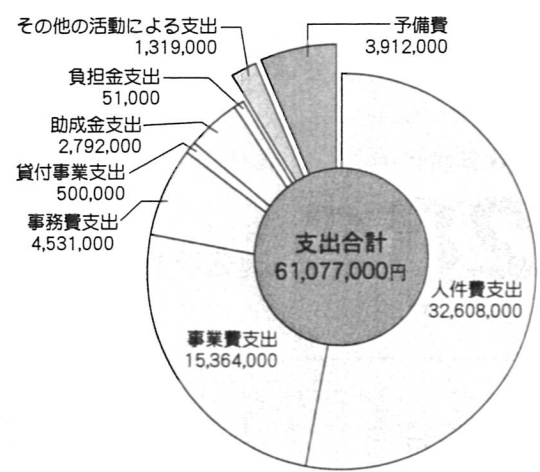
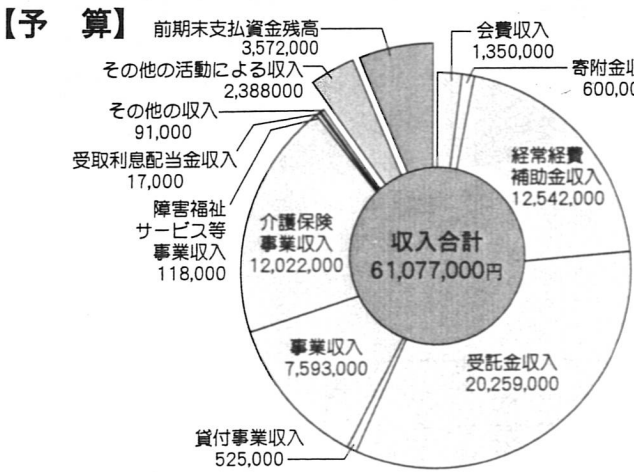
3. いきいき生活倶楽部事業

予防に重点をおいた健康づくり体操を継続して実施、参加者の拡充

4. ゆうゆうの会事業

健康維持や仲間づくりなど交流の場の充実

平成28年度の事業を継続し、それぞれの事業の拡充を図っていきます。
金山町におけるよりよい地域のまちづくりを行うために、行政や地域包括支援センターなど関係機関と連携・協働しながら進めていくことができるよう、役職員一丸となって取り組んでいきます。また、元気でまっせ体操などの周知活動も展開しながら、集まり場の提供につなげることで、健康寿命の延伸に努めていきます。



○事業ごとの支出の内訳

単位：円

拠点区分・サービス区分	予算額
地域福祉活動推進事業	39,420,000
法人運営事業	10,067,000
地域福祉活動推進事業	5,041,000
福祉バス運行事業	1,318,000
ゆうゆう人材センター事業	6,150,000
共同募金配分事業	1,652,000
心配ごと相談事業	131,000
生活支援体制整備事業	7,093,000
いきいき生活倶楽部事業	3,636,000
配食サービス事業	2,603,000
外出支援サービス事業	1,729,000

単位：円

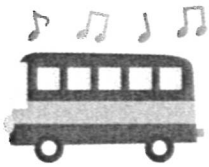
拠点区分・サービス区分	予算額
資金貸付事業	4,006,000
ホームヘルプサービス事業	11,780,000
訪問介護事業	9,463,000
訪問入浴介護事業	2,181,000
居宅介護事業	136,000
公益事業	5,871,000
老人福祉センター管理事業	4,871,000
介護予防・生活支援サービス事業	1,000,000
支出合計	61,077,000

温かい善意ありがとうございます

平成28年11月～平成29年3月

奥 信 喜様 土 倉 亡父追善供養	三 瓶 浩 一様 大 塩 亡父追善供養
20,000円	30,000円
長谷川 カツ子様 西 谷 故人のご遺志	滝 沢 仁 様 上横田 亡母追善供養
50,000円	20,000円
長谷川 恒一郎様 東京都 亡父追善供養	菅 家 千 秋様 神奈川県 亡父追善供養
30,000円	10,000円
新 國 二 様 横 田 ベッド借用御礼	五ノ井 哲 雄様 川 口 亡母追善供養
20,000円	20,000円
角 田 敏 明様 白河市 亡母追善供養	中 丸 武 吉様 大 志 亡母追善供養
20,000円	10,000円
	匿名希望のみなさま 1件 25,000円

地域福祉活動に活用させていただきます。



福祉バスが新しくなります

平成29年度運行より、福祉バスが新しくなります。

基本的なご利用方法については、今までと変わりありませんが、乗車定員に変更がありますので、ご利用される場合はご注意ください。

なお、詳しいご利用方法については社会福祉協議会までお問い合わせください。

【乗車定員】

28名 (運転手含む)



職員のつづやき...

冬の厳しさから解放され、花だよりが待ち遠しいです。平成二十九年度において、社協職員全員が、今まで以上に地域の皆様とふれあう機会を大切にしていきながら、それぞれの業務を進めていくことを話し合いました。

まずは、社協が行ういきいき生活倶楽部やゆうゆうの会などを通して職員を身近に感じていただきたいと思います。次に、地域の「お茶のみ」や「集まり場」などにおじゃましたいと考えています。そこには「これからの金山町での暮らし方」を見つげるヒントがあるからです。

これからも地域の皆様と共に歩いていく社協でありたいと願っています。

(加藤)